

## 祝 辞

本日、ここ海上自衛隊 第1術科学校 大講堂において、第121期 幹部予定者課程の入校式が、厳粛に挙行されるに当たり、地元、江田島市民を代表して、一言お祝いの御挨拶を申し上げます。

幹部予定者課程に入校される皆様、御入校、誠におめでとうございます。

皆様は、これまで部隊などにおいて、たくさんの経験、実績を積み重ね、その実績を認められて、晴れて幹部予定者課程へ入校されたと同っております。

卒業後は、それぞれ幹部自衛官として、更なる御活躍が期待されております。

そのような皆様をお迎えすることは、地元江田島市としても大きな喜びであり、心から歓迎を申し上げます。

さて、御承知のとおり、近年、北朝鮮を巡る動きが注視されており、この7月に大陸間弾道ミサイルの発射実験を2回も実施されたことは、記憶に新しいところでございます。江田島市としましても、直ちに北朝鮮に対して、抗議文を送付したところであります。

また、隣国による領海・領空への接近なども、たびたび報道されており、日本の安全保障体制をおびやかしかねない、緊迫した状況が続いております。

そのような中、皆様におかれましては、警戒監視活動を始めとする防衛任務に、昼夜を問わず懸命に当たられていることは、大変心強く、頼もしく思っております。

どうか、皆様におかれましては、旧海軍兵学校の伝統を受け継ぐここ江田島で、幹部自衛官として、強い責任感と確固たる使命感をもって、高い教養と技能、指導力を身につけていただきたいと思っております。そして卒業後は、その実力を存分に発揮されることを、心から期待しております。

ここ江田島市は、漆（うるし）工芸家として高名で、キリンビールのラベルの麒麟（きりん）をデザインされたとされる、六角紫水先生や、昭和の政界三賢人と称され、衆議院議長や文部大臣を6回も歴任された、灘尾弘吉先生を輩出した地であります。

本校の近くにある学びの館や、大柿町にある大柿地区歴史資料館・灘尾記念文庫などでは、江田島市の歴史の一端に触れることができます。

ぜひ、厳しい訓練の合間には、こういった施設を訪れて、地域の歴史に触れてみてください。そして、江田島市との「縁」を紡ぎながら、思い出深い学生生活を送っていただきたいと思っております。

結びになります。日本国の繁栄、海上自衛隊の益々の御隆盛、御発展、そして皆様の御健勝と更なる御活躍を、心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

平成29年8月24日

江田島市長 あきおか 明岳 しゅうさく 周作